

NEDO懸賞金活用型プログラム

GENIAC PRIZE

想像し、解放し、創造する。

官・民・
安全性で
4つのテーマ

懸賞金総額
8億円

結果発表
2026年
3月末

Judge (他の審査者は懸賞広告を参照)

デジタル庁



JDLA



Generative AI Japan

AISI Japan
AI Safety
Institute



JPO

M 松尾・岩澤研究室
MATSUO-IWASAWA LAB UTOKYO



NVIDIA.

NII
国立情報学研究所

主催：経済産業省/NEDO # GENIAC #GENIACPRIZE #NEDOChallenge



GENIAC-PRIZEは、生成AIの社会実装を目的に
経済産業省とNEDOが立ち上げたプロジェクトです。

生成AIによる解決が望まれるテーマに即した具体的なニーズに
基づく生成AIサービスを開発・実証・応募いただき、
審査を経て、成果に応じた懸賞金を授与します。

ユーザー の革新

国産基盤モデル等を活用した 社会課題解決AIエージェント開発

- 概要：製造業の暗黙知の形式知化/カスタマーサポートの生産性向上に資する国産基盤モデル等を活用したAIエージェントの開発、実証
- 懸賞金：1位5,000万円、2位4,000万円、3位3,000万円 他

高度な 情報探索

官公庁等における審査業務等の効率化

- 概要：官公庁の共通ニーズである審査業務（特許審査業務をモデルとする）効率化に資する生成AI開発
- 懸賞金：1位1億円、2位7,000万円、3位3,000万円 他

AI セキュリティ

生成AIの安全性確保に向けたリスク探索 及びリスク低減技術の開発

- 概要：生成AIの安全性に関わるリスクの特定と当該リスク低減技術の開発
- 懸賞金：1位7,000万円、2位5,000万円、3位3,000万円 他

お問い合わせ
geniac_prize@bcg.com



詳細はこちらから
<https://geniac-prize.nedo.go.jp/>

想像し、解放し、創造する。

NEDO Challenge
NEDO懸賞金活用型プログラム



最終審査 & 表彰式

GENIAC PRIZE とは?

生成AIの社会実装を目的に経済産業省とNEDOが立ち上げたプロジェクトです
生成AIによる解決が望まれるテーマに即した具体的なニーズに基づく
生成AIサービスを開発・実証・応募いただき、審査を経て、成果に応じた懸賞金を授与します

民・官・安全性で

3領域 4テーマ

懸賞金総額

8億円

日付

2026年

3月24日(火)

時間

12:00開始
19:40終了

配信
URL



[https://youtube.com/
live/DE5qId4XXwU?
feature=share](https://youtube.com/live/DE5qId4XXwU?feature=share)



◀今後の最新情報は
GENIAC PRIZE特設サイトを
ご確認ください！
<https://geniac-prize.nedo.go.jp/>

GENIAC PRIZE 🔍

領域 1 国産基盤モデル等を活用した社会課題 解決AIエージェント開発

テーマ I

製造業の暗黙知形式知化

テーマ II

カスタマーサポートの生産性向上

▶ 領域概要 製造業の暗黙知の形式知化/カスタマーサポートの生産性
向上に資する国産基盤モデル等を活用したAIエージェントの
開発、実証

▶ 懸賞金 1位: 5,000万円 / 2位: 4,000万円 / 3位: 3,000万円 他

領域 2 官公庁等における審査業務等の効率化

▶ 領域概要 官公庁の共通ニーズである審査業務(特許審査業務を
モデルとする)効率化に資する生成AI開発

▶ 懸賞金 1位: 1億円 / 2位: 7,000万円 / 3位: 3,000万円 他

領域 3 生成AIの安全性確保に向けたリスク探索 及びリスク低減技術の開発

▶ 領域概要 生成AIの安全性に関わるリスクの特定と当該リスク低減
技術の開発

▶ 懸賞金 1位: 7,000万円 / 2位: 5,000万円 / 3位: 3,000万円 他



最終審査&表彰式

当日のタイムテーブル

2026.3.24 (Tue) 12:00~19:40
(タイムテーブルは変更の可能性がございます)

12:00~12:10	オープニング
12:10~15:15	領域1: 国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発 最終審査プレゼン
15:30~16:15	領域2: 官公庁における審査業務等の効率化 受賞者紹介・表彰
16:15~17:00	領域3: 生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発 受賞者紹介・表彰
17:15~17:55	ゲストスピーカー・審査員によるパネルディスカッション ▶ 登壇者: 南場智子: 株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役会長 北野宏明: ソニーグループ株式会社チーフテクノロジーフェロー 松尾豊: 東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター／技術経営戦略学専攻教授・AI戦略会議座長 渡辺琢也: 経済産業省 商務情報政策局情報産業課AI産業戦略室室長
18:10~19:40	領域1: 国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発 最終審査プレゼン結果発表・表彰

審査員紹介

領域1: 国産基盤モデル等を活用した社会課題解決AIエージェント開発

- ▶ 審査員:
- 井崎武士: エヌビディア合同会社エンタープライズ事業本部事業本部長
 - 北野宏明: ソニーグループ株式会社チーフテクノロジーフェロー
 - 杉山俊幸: 日経BP総合研究所チーフコンサルタント主席研究員
 - 馬場雪乃: 東京大学大学院総合文化研究科准教授
 - 湯浅エムレ秀和: グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社パートナー
 - 林英俊: 一般社団法人製造DX協会代表理事株式会社株式会社 | エスマット代表取締役
 - 岡田隆太郎: 一般社団法人日本ディーラーニング協会専務理事
 - 白井恵里: 株式会社メンバーズ執行役員 | メンバーズデータアドベンチャーカンパニー社長 | 一般社団法人Generative AI Japan 理事
 - 松尾豊: 東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター／技術経営戦略学専攻教授・AI戦略会議座長
 - 村上真奈: エヌビディア合同会社ソリューションアーキテクトマネージャー
 - 矢島竜児: 株式会社リックテレコム取締役月刊コールセンタージャパン編集長
 - 山下辰巳: HDI-Japan代表取締役CEO
 - 桑原優樹: JICベンチャー・グロス・インベストメンツ株式会社ベンチャーキャピタリスト

領域2: 官公庁における審査業務等の効率化

- ▶ 審査員:
- 官公庁(デジタル庁、特許庁、東京都・一般財団法人GovTech東京、広島県、大阪市、神戸市、北九州市等)
 - 民間企業等(東京海上HD、一般社団法人AIガバナンス協会等)

領域3: 生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発

- ▶ 審査員:
- 大塚玲: 人工知能学会安全性とセキュリティ研究会(SIG-SEC) 主査 | 情報セキュリティ大学院大学教授
 - 小田悠介: 国立情報学研究所(NII)特任准教授 | シェルパ・アンド・カンパニー株式会社AI事業部テクニカル・ディレクター
 - 加藤敏洋: 独立行政法人情報処理推進機構(IPA) | AIセーフティ・インスティテュート(AISI)研究員
 - 関根聡: 国立情報学研究所(NII) 科学主幹特任教授
 - 津田麻紀子: 西村あさひ法律事務所弁護士
 - 浜谷千波: アドソル日進株式会社執行役員AI研究所部長
 - 村川正宏: 産業技術総合研究所インテリジェントプラットフォーム研究部門研究部門長
 - 森正弥: 博報堂DYホールディングス執行役員兼CAIO

